



Second Breakthrough Contest 2014

BREAKTHROUGH 2014 Second CONTEST

2014.12.13sat

BREAKTHROUGHとは
日本人学生と留学生と企業が三位一体となって企業のアジア進出を目指し活動する長期問題解決型インターンシップをおこなっている学生団体です。企業のアジア進出の際、海外との架け橋と成り得る留学生とタッグを組み学生ならではのアイデアで企業の抱えている問題解決へ向け日々活動しています。そして、日本で就職したくても出来ない留学生・グローバル化に対応できない日本人学生・海外進出がしたい企業それぞれの問題を一気に解決することがBreakthroughの挑戦です！

活動内容
私達運営はBreakthrough全12プロジェクトを統括し、各プロジェクトが円滑にプロジェクト活動を行えるように毎週会議を実施しています。主な活動内容としては、プロジェクト活動の成果を発表する場である中間発表やコンテストの運営、そしてプロジェクトの仲を深めるため、またプロジェクトの垣根をこえて日本人学生・留学生関係なくBreakthroughの団結力を強めるための合宿やセレーノ・コーポレーションとコラボして日本での就職を考えている留学生と社会人の交流会など様々なイベントを企画してきました。今年はより多くの方にBreakthroughを知っていただくために社会人が集まる朝会等に参加する他、社会人・学生・メディアの3つのチームに分かれての周知活動にも取り組んでいます。

福岡友情ネットワークプロジェクト

Activities Theme 活動内容やテーマ

日本を留学生の第二のふるさとに！これが私たちのモットーです。海外に行くと、誰もが言語・文化という壁にぶつかります。例えば、その国の言葉が話せないと病院に行ったときに自分の症状をうまく伝えることが出来ません。文化が違うと自分たちの常識がその国の非常識で、知らないうちに軋轢が生じることがあります。日本に来ている留学生も同じです。言語や文化の問題だけでなく、外国人だからという理由だけでアルバイトや入居を断られることもあります。彼らは日本が好きだから日本に来ています。しかし、悲しいことに日本での辛い経験から帰国後に反日運動に走る留学生もいます。そんな留学生の為に立ち上がったのが私たちの派生元である「飯塚友情ネットワーク」代表の医師・縄田修先生です。縄田先生はゴミ捨て場から生活必需品を持ち帰る留学生を目の当たりにし、留学生支援を始めました。縄田先生は留学生の言語・医療・住居の問題を始め、多くの問題の解決のために20年にわたって活動しています。私たち福岡友情ネットワークは縄田先生の飯塚友情ネットワークの福岡版を作ろう！ということで活動しています。「生活・友人・就職」という留学生三大問題のうち昨年度は「友人」の問題解決のために、交流がしやすいようなイベントを数多く行なっていました。そして今年度は「生活」の問題の解決のために、自分たちのサイトに掲載する生活情報を収集したり、企業を巻き込んだりしながら活動をしています。

Advantage プロジェクトの強み

老若男女、職業を問わず、私たちを応援してくれるサポーターがいます。一つのイベントを開催するにあたって多くの人たちの支えがあって成り立っています。また、メンバーの個性の強さはどこのプロジェクトにも負けません！6人という少人数ですが、会議はいつも活気に溢れています。留学生との交流イベントも、主催者だから参加者を楽しませる、というよりも主催者だからこそ一緒に楽しむという姿勢で楽しんでいます。

Menber

- 2 回 生 赤木 公宣 福岡大学経済学部
小谷 美月 福岡大学経済学部
南 奈津稀 福岡大学人文学部
山下 綾平 福岡大学経済学部
- リーダー 山下 由貴 久留米大学文学部 3 回 生



大口酒造プロジェクト

Activities Theme 活動内容やテーマ

テーマ:「黒伊佐錦600本売上のための販売促進」このテーマのもと私達は活動しています。芋焼酎の中国進出には貿易面・文化面など様々な問題があります。これは大口酒造だけではなく、ほとんどの酒造会社では共通の問題を持っています。その問題を解決すべく私達は以下の活動を行います。

- 芋焼酎の現状を改善！ ●輸出における問題解決 ●広告の完全現地対応化

600本へ向けての販売促進活動

- 特定地域でのプロモーション活動・営業活動 ●黒伊佐錦の魅力を発信(伊佐市ツアーの実施)



Advantage プロジェクトの強み

私達は、活動においていかに論理的に考えて、どれだけ足を使って行動できるかにスポットを置き、活動を行っています。学生らしさをしっかりと持ちつつ、テーマ先企業の利益にどう反映させていくか。一步間違えれば会社の価値を傷つける事にも繋がっていくので、しっかりと計画的に責任を持って活動を行っています。またどこよりも、社会におけるマナーにおいても力を入れているプロジェクトです。目上の方への配慮、言葉遣い、名刺の渡し方など活動を行う上で、必ず大事になる事を大口酒造さんと共に考えています。私たちのプロジェクトは会社側と学生側の結びつきが強く、アットホームな家族です。何かあれば皆で集まって、美味しい焼酎を飲みながら語っています。しっかりとオンとオフを切り替えられるプロジェクトですね。

Menber

- 3 回 生 深水英美 福岡大学法学部
高尾成美 福岡大学法学部
 - 2 回 生 横尾秀一 福岡歯科大学口腔歯工学部
 - 1 回 生 田中 開 近畿大学産業理工学部
島田直和 近畿大学産業理工学部
福島侑弥 福岡大学経済学部
- 修 士 森田航介 西南学院大学文学部
段 騰飛 中村学園大学修士
 - リーダー 平山健也 福岡大学 経済学部2回 生
 - 副リーダー 古賀悠介 福岡大学 経済学部1回 生



久原本家プロジェクト

Activities Theme 活動内容やテーマ

私たち久原本家プロジェクトは、茅乃舎の商品である、だしとふりかけを、ネット通販で中国進出させることです。中国ではだしやふりかけの文化や、茅乃舎の知名度、実店舗がなく、また、広告費に使えるお金も限られています。そのなかで私たちの目標は、初年度600万円の売り上げをあげることです。私たちができるのは、中国への宣伝です。一つの方法ではなく、あらゆる方向から宣伝方法を見つけ、留学生と日本人学生が協力しながら、活動していきます。



Advantage プロジェクトの強み

留学生と日本人学生の協力が鍵になってくる、まさにブレイクスルーにふさわしいプロジェクトです。久原本家プロジェクトは3年目ですが、リーダーも変わり、新しいメンバーが多く、昨年度とはまた違った久原本家プロジェクトになっています。今では一致団結して、活動は盛り上がっています。活動が実際に売り上げという数字に出てくるので見どころ満載のプロジェクトです！

Menber

- 2 回 生 谷崎 沙耶 福岡大学商学部
 - 3 回 生 上瀧 史也 福岡大学経済学部
竹井 夏美 九州大学法学部
竹下 葵 福岡女学院大学人文学部
牟田 千紘 福岡女学院大学人文学部
西島 滯 西南学院大学経済学部
- 留 学 生 楊 思佳 九州情報大学
王 洪博 九州情報大学
張 妮 福岡大学別科
劉 非 福岡大学商学部
李 忠 福岡大学
楊 未来 西南学院大学
黒木 帆南 西南学院大学経済学部 3回 生
 - リーダー



丸松セムプロジェクト

Activities Theme 活動内容やテーマ

- プロジェクトテーマ:【インキュベーション事業の立ち上げ】
- 事業立ち上げの背景:【流通センターの地域活性化】

丸松セム株式会社、福岡市東区多の津『流通センター』に本社をおく。

弊社会長を務める八頭司正典会長は流通センターに本社をおく企業経営者が参加する地域組合の理事の役職についている。組合では現在流通センターの地域活性化を行っており、その取り組みに協力すべく、今回インキュベーション事業を立ち上げるようになった。起業家誘致、起業家支援を行うことで流通センターに元気な企業・成長する企業を増やし、地域活性化に繋げることが事業立ち上げの目的にある。流通センターの特徴・強みを活かせるインキュベーションサービスの立案、それらに適した事業分野を行う起業家を誘致することが、今年度Breakthrough丸松セムプロジェクトのミッションである。

Advantage プロジェクトの強み

我らが丸松セムプロジェクトの強みは『企業』と『メンバー』の大きく2つにある。まず1つ目の『企業』とは、丸松セム株式会社のことである。今回事業立ち上げの大部分を企業側に丸松セムプロジェクトに任せていただくこととなった。大きな責任とともに新規事業を学生の手で作れるというやりがいを与えてくださった。その中で現在は企業側と密に連携を取り、事業立ち上げに向け活動を進めている。次に2つ目の『メンバー』とは、意識の高いメンバーが集まっていることにある。海外インターンシップを経験した、多くの経営者とのコネクションを作りたい、そして将来起業するといった精鋭が揃っている。個性が強すぎることに少々苦勞もあるが、プロジェクトリーダーとしてここまで頼りになるメンバーは他にはいないと自負している。

Menber

- 1 回 生 岡本 翔 久留米大学商学部
 - 2 回 生 岸本 康太郎 福岡大学商学部
徳永 祐果 福岡大学経済学部
 - 3 回 生 池本 滯加 福岡大学理学部
 - 4 回 生 濱本 宗大 福岡大学商学部
 - 修 士 李 若泉 福岡大学院
- リーダー 山中 規彰 福岡大学 経済学部 4 回 生



GoGoEVプロジェクト

Activities Theme 活動内容やテーマ

- プロジェクトテーマ:【電気自動車を普及させること】
- 活動内容:私たちの活動内容は、EV(電気自動車)を普及させるために有効なことを実行することです。とても抽象的ですが、なにがEV普及に有効なのか、どうしたらEVが普及するかを学生自身で考えたアイデアを実行します。ここでなぜ、EVを普及させるかというと、ガソリン価格の高騰や環境問題、エネルギー問題などが背景としてあります。20年後、30年後、私たちの未来を見据えたとき、電気自動車(EV)や水素で走る車、燃料電池自動車(FCEV)などに移行していく必要があります。

Advantage プロジェクトの強み

私たちの強みは、2点あります。(1)EVに私たちは実際に乗って、EVユーザーの目線に立っていることです。何度もEVに乗って熊本、大分を旅行しました！(2)私たちのテーマ先企業である「GoGoEV」の存在です。GoGoEVは、全国のEV充電器の場所をスマートフォンやパソコンで検索できるサービスを提供しています。GoGoEVは国内で最大のEV充電器の情報量を誇るサイトなんです！(9000ヶ所以上の充電器を掲載)国内No.1であるGoGoEVと共に活動することは、国内において最前線でEV普及活動をするを意味します。GoGoEVプロジェクトは、今年で2年目になります。昨年は、イーロン・マスク氏で有名な、アメリカの電気自動車会社、“テスラモーターズ”「モデルS」の試乗会を実施したり、EVを導入している企業に聞き込み調査、EV充電器の100ヶ所以上の調査などを行いました。昨年の活動で、「充電器はどこにあるの？」という声が多数ありました。この文章をお読みになっている方も充電器を見た！という方は多くないと思います。もちろんEVには航続距離が短いなど様々な普及阻害要因がありますが、私たちは「ユーザーが充電器を認知していないこと」が一番のキーであると考え、「確かに実在する充電器」と「充電器を知らない」の意識の差を埋める活動を行います。

Menber

- | | | | |
|------|--|-------|--------------------|
| ●3年生 | 古川 裕貴 福岡大学法学部
脇山 孔希 西南学院大学経済学部
久保山優香 福岡大学法学部 | ●リーダー | 江崎 洋平 福岡大学 経済学部2年生 |
| ●2年生 | 宮崎 真 福岡大学工学部 | | |
| ●大学院 | 高木 貴大 九州大学大学院修士2年生
砂田 恭平 九州大学大学院修士1年生 | | |



サニックスプロジェクト

Activities Theme 活動内容やテーマ

今、サニックスは激動の中活動しています。これまでは「サニックスの未来を支える人材確保」というテーマの元、サニックスの雇用問題にフォーカスして活動していたプロジェクトでした。ですが、9月24日の九州電力のFIT(固定買取制度)中断の影響でプロジェクトテーマを変えざるおえない状況になりました。新しいテーマは「FITに頼らない太陽光の新たなビジネスモデルを」となりました。専門的な知識を使って製品の性能を向上させるようなことは私達にはできません。なので、学生らしく足を使って調査に飛び回り、自分たちなりの実現可能なビジネスプランを導き出します！

Advantage プロジェクトの強み

プロジェクトメンバーは14名から7名まで減りましたが、団結力ならば負けません！また、自由な発想で動けるプロジェクトなので様々な可能性を秘めているプロジェクトともいえます。また、フットワークが軽く、色んな事に挑戦していく向上心を持っています。メンバーに助けられながら頑張ります。

Menber

- | | | | |
|------|---|-------|-------------------|
| ●1年生 | 丸山 智紀 福岡大学経済学部 | ●リーダー | 石松 裕平 福岡大学経済学部2年生 |
| ●2年生 | 石田 雅之 福岡大学
中村 弘穂 中村学園大学
中村 凌 福岡大学経済学部
谷口 友輔 福岡大学経済学部 | | |
| ●4年生 | 岩崎 春奈 福岡大学 | | |



紙資源プロジェクト

Activities Theme 活動内容やテーマ

私たち紙資源プロジェクトは「東南アジアへの古紙の輸出」をテーマに活動を行っています。今現在、株式会社紙資源は家族経営を行っており、中国を中心に東南アジアへの古紙の輸出を拡大しています。その海外輸出に関する業務をすべて大津常務取締役1人で行われています。大津常務取締役一人では海外事業部の業務を行うのが大変であるということで、人を増やしたいという思いから、現状を改善するために海外輸出事業部のチーム化を図りたいと思い、誰が見ても分かるような業務フローのマニュアル作成と、またそのマニュアルを使った社員向け研修を私たち学生が企画していくことが今年度の目標です。



Advantage プロジェクトの強み

私たち紙資源プロジェクトの強みは、これから先、将来的にアジア等の海外ビジネスが発展していくなかで、学生のうちに通関士の資格の勉強や、貿易の流れや、海外事業部の運営方法について多く学ぶ機会があるということです。このことから、将来海外ビジネスを行う上での貿易のノウハウ等を活かすことができると思います。

Menber

- | | | | |
|------|--|-------|---|
| ●1年生 | 江口 悠希 福岡大学商学部
相良 燦太 福岡大学経済学部
丸岡 美咲 福岡大学商学部 | ●リーダー | 谷口 友輔 福岡大学経済学部
重松 朋子 西南学院大学人間科学部 4年生 |
| ●2年生 | 石橋 青弥 福岡大学経済学部
嶋尾 優哉 福岡大学経済学部
田中 京介 福岡大学経済学部 | | |



シンゲンメディカルプロジェクト

Activities Theme 活動内容やテーマ

【テーマ背景】中国では、約5000万人もの不妊患者さんがいるにも関わらず、しっかりとした不妊治療を行える施設は約300カ所と圧倒的に少なく、すべての不妊患者に治療が行き届いていないのが現状です。そこで、多くの不妊患者の方が頼っているのが「サプリメント」です。私達は、㈱シンゲンメディカルが販売する「プレミンママ」という、卵子の老化防止のサポートを行うサプリメントをインターネット通販で販売し、1人でも多くの中国の不妊患者さんを救うべく活動しております。

【活動内容】私達は、中国で㈱シンゲンメディカルのファン作りを行っております。主にSNSを利用して、情報発信を行い、企業・商品としての信頼性を獲得する為に留学生を中心に活動しております。

Advantage プロジェクトの強み

本プロジェクトの強みは、学生・留学生の企業関係にあります。企業としても中国通販の売上の為にサイトの構築、ネット広告、現地での市場調査などに取りかかっています。さらに、企業の手が回らないファン獲得の部分で、留学生を中心に活動し、ファン作りを行っております。また、私達学生の活動においても企業として予算を用意しており、私達の調査のもと、いいアイデアがあれば、費用を投資して行えます。つまり、プロジェクトとしても活動を制限される事なく伸び伸びと活動を行えるのです。

Menber

- | | | | |
|------|--|-------|-------------------|
| ●1年生 | 金子美 中村学園大学流通科学部
小泉はるな 中村学園大学流通科学部
田中亜茄音 中村学園大学流通科学部
木原侑大 福岡大学経済学部 | ●リーダー | 寺原駿平 福岡大学経済学部 3年生 |
| ●留学生 | 姚陽 九州産業大学
李先剛 九州産業大学 | | |



A-futureプロジェクト

Activities Theme 活動内容やテーマ

プロジェクトテーマ:【日本の商品を中国のスーパーへ】
株式会社A-future、福岡市西区愛宕浜に本社を構えております。代表取締役を務める金英姫社長は、以前TRIAL中国子会社の董事長(CEO)をされていました。現在では、中国超市聯合購買協会をパートナーに持ち、これは株式会社A-futureの販売チャネルでもあります。株式会社A-futureでは、日本製の商品を中国のスーパーマーケットへ向けて輸出し、中国の人々の生活の質の向上及び、日本企業の新しいマーケットへの販路拡大をテーマとしています。そして、今年度の目標は中国のスーパーで展示会を行い5つの商品を継続的な取引に繋げることです。

Advantage プロジェクトの強み

私達は福岡大学の生徒ではありますが、企業の立ち上げに関わり多くの経験をさせて頂いております。中でもこのプロジェクトの醍醐味であると感じていることが、もともと営業先だった方々が、どんどん私達の支援者となって下さっております。今ではメンターと御呼びさせて頂ける程、私達を応援して下さい、助けて下さる方が本当にたくさんいらっしゃいます。また社長1人、設立間もない株式会社A-futureの立ち上げにおいて私達学生なしでは成り立つことが出来きません。営業活動はもちろんのこと、ビジネスモデルや企業の方向性も私達の成果によって改善されていきます。しかし、ひとつの大きなビジネスに関わらせて頂いているため、学生だけでは一筋縄ではいかないことばかり・・・多くの方の支援を頂き現在まで活動してきました。若者を応援して下さい、多くの社会人の方に出逢えるこの活動に出会えたことにメンバー一同本当に感謝し、活動させて頂いております。私たちのチームの自慢はイノシシのような勢いと、どこにも負けない行動力です。

Menber

- | | | | |
|------|-------|----------|----------------------|
| ●1回生 | 巖 美治 | 福岡大学商学部 | 姜 宇坤 |
| | 梶原 真 | 福岡大学商学部 | 劉 雨絲 |
| ●2回生 | 竹田 佳史 | 福岡大学法学部 | 楊 茜 |
| ●4回生 | 岩永 啓 | 福岡大学経済学部 | ●リーダー |
| ●留学生 | 李 若泉 | 福岡大学院 | 山本 紗弥華 福岡大学 経済学部 3回生 |
| | 沈 澤恒 | | |



豊栄グループプロジェクト

Activities Theme 活動内容やテーマ

私達豊栄グループプロジェクトは「世界に通用する留学生介護人材の育成」をテーマに活動を行っています。日本で は将来、介護人材の不足が懸念されています。そのため私たちのインターン先である豊栄グループは昨年日本の医療分野で国際意識を持った人材の育成を目標とした日本語学校、豊栄インターナショナル日本語アカデミー通称HJLAを開校しました。昨年は開校に伴い次年度の入学者確保を目標に活動しましたが、今年は来年に初めての卒業生がでることに伴い今後の卒業生のサポートにも繋がる10年後20年後の日本を支える介護人材になってもらうため、また他国で就労しても通用するような日本の高い技術やホスピタリティを留学生に身に付けてもらう為の「教育プランの作成」を目標としています。その目標達成に向けて様々な専門学校等のデータ、日本と海外の介護の現状等について調査してきました。インターン先の豊栄グループはこのテーマを達成することで日本の介護人材不足、海外の介護技術不足の二つの問題点を解決したいと考えています。

Advantage プロジェクトの強み

私達のプロジェクトはどこよりもインターン先との関係が良く、プロジェクト活動を進めていく上で悩んでいる事やわからない事などの相談も真剣に話を聞いていただき、困っている時にはアドバイスをくださるなど、とても私達に寄り添ってくださいます。そういったインターン先の支えの元、私達は活動できています。このようなインターン先との関係の良さが私たち豊栄グループプロジェクトの強みです！！

Menber

- | | | |
|-------|--------|--------------|
| ●1回生 | 南 美紗稀 | 福岡大学経済学部 |
| ●4回生 | 小田 慎太郎 | 九州大学経済学部 |
| | 牧瀬 立 | 福岡大学経済学部 |
| | 兼子 大輝 | 福岡大学経済学部 |
| ●院生 | 山下 優花 | 九州大学経済学部 |
| ●リーダー | 吉田 竜太 | 福岡大学経済学部 1回生 |



お土産プロジェクト

Activities Theme 活動内容やテーマ

私たちメモリードお土産プロジェクトは日本人学生13人、留学生1人で活動しています。今年度のテーマは将来的なビジョンとしてお土産雑誌を販売するための第一歩として雑誌を一冊作成することです。現在、雑誌に掲載するお土産やお店の情報を集めています。最終的には取材に行って写真を撮り、レイアウトを作成するところまで私たち学生が行おうと思っています。ところで、なぜお土産なのでしょうか？北海道を例として挙げますと、北海道のお土産文化は盛んであり、有名なものが多いですね。それは、北海道でしか買えないお土産が多く、なおかつ、北海道に行っても欲しいと思うくらい魅力的なものがあるからだと思います。逆に、九州のお土産は有名なものと博多通りもんであったり、長崎カステラだったり、有名なものはもうすでに定番で、ありきたりなものが多く、どこの空港に行っても普通に売られているなど北海道に比べてお土産の文化は発達していません。そこで、私たち学生が九州のあっと驚くお土産を探しだし、たくさんの人に九州のお土産を知っていただきたいと思っています。

Advantage プロジェクトの強み

私たちお土産プロジェクトの強みは行動範囲の広さです。私たちは九州のお土産を調査するために九州各地をくまなく調べつくします！そのため、直接現地に行って調査をするので毎週メンバーみんなでプチ旅行気分楽しく活動を行っています。これから3月までこの仲良しメンバーで頑張っていきたいです。

Menber

- | | | | | | |
|------|-------|-------------|------------|-----------------|--------|
| ●1回生 | 高浪米太 | 福岡大学商学部 | 池田真理子 | 中村学園大学栄養科学部 | |
| | 西垂水千晴 | 中村学園大学短期大学部 | 福田佳歩 | 中村学園大学栄養科学部 | |
| | 田中舞 | 中村学園大学短期大学部 | 園田夏那 | 中村学園大学短期大学部 | |
| ●2回生 | 原真義 | 福岡大学工学部 | ●4回生 | 光富大輔 | 九州情報大学 |
| | 足利剛彦 | 福岡大学経済学部 | ムケシュ ランジャン | 福岡外語専門学校 | |
| | 田坂美穂 | 中村学園大学栄養科学部 | 西見夏美 | 中村学園大学短期大学部 2回生 | |



GOOD SMILEプロジェクト

Activities Theme 活動内容やテーマ

私たちは、株式会社メモリードの関連会社であるGOOD SMILEがテーマ企業です。今回、GOOD SMILEの主要商品である「レバオ」という医薬部外品のシャンプーを「海外への低コスト販路の発見と構築」というテーマのもと活動しています。目標は年間販売3000万円の達成です。では、中国で日本製のこのシャンプーが売れるのか？それが、売れているんです！現在、日本在住の中国人が仲介人としてこの「レバオ」をまとめて購入し、中国に販売をしています。これは、しっかり販路を構築してあげれば、もっと「レバオ」の販売数が増えるのではないかとこの考えからこのテーマになりました。現在、留学生と一緒に巻き込みこのシャンプーをもっと販売するために、中国の卸売販売を学び、仲介人探しを行いつつ企画書の作成、また仲介人に対してどのようにシャンプーを販売すればいいのか、という説明会も行う予定です。このように私たちのプロジェクトは精力的に活動を行っています。

Advantage プロジェクトの強み

私たちのインターン先の企業の本社は長崎にあり、なかなか担当者と会い一緒に会議を行うことは難しいです。しかし、リーダー筆頭にこまめに連絡を行うことによりカバーしています。また、福岡にあるメモリードにて本社とのテレビ会議も行っています。頻繁に会えないために一回一回の会議が重要になってきます。そのためにも、事前の準備は他のプロジェクトに比べ抜かりはないです！！メンバーは学科も全く違うような8人が集まり、内3人の留学生も協力して淘宝、Weiboの運営も行っています。

Menber

- | | | | | |
|------|--------|---------------|--------|---------|
| ●3回生 | 畑部 緑 | 中村学園大学流通学部 | ロ ヨウヨウ | 福岡大学研究生 |
| | 前田 有佳 | 中村学園大学流通学部 | | |
| ●2回生 | 酒瀬川 麻理 | 中村学園大学食物栄養科学部 | | |
| ●1回生 | 岡部 美里 | 福岡大学経済学部 | | |
| ●研究生 | 高 ライ | 福岡大学研究生 | | |
| | 張イクリュウ | 福岡大学研究生 | | |

